



その他、地元議員の参加については賛否両論がありました。

◆交通政策で、市営バスの
利用促進のためにも原則
マイカー規制を考えては

◆合併によってよくなっ
ていないし、課ばかり増
えて対応する所がわから

ない。必ずしもよくなつたとは言えない。

◆地デジ対策の内容が知りたい。

◆春日小北、北原地区の難視聴地区でケーブルテレビが、見ることができるようになるのとことであつたが、一向に進まない。県の調査も数回あつたが、いまだによく映らない。

◆蓮池もぶんぶんテレビが見られるようになるのか。

◆税の納付は、十一月までに四期分を納めるのが年金生活者は困難だ。実情を酌んで三月までに納入可能にしてほしい。

◆合併で税金が上がった。特に固定資産税が上昇したが、都市計画税が地域に還元されているのか。路線価格が上がっていないのに評価額が上がったのはどうしてなのか。

◆固定資産税に関して、非課税のところもある中で、生活保護以下の所得しか

ないのに課税することについて検討してほしい。

◆厳しい財政の中で、無駄を省く努力が必要と思うが、一つの例として固定資産税の納付書が土地と建物と別個にくる、一緒にできると思うので、こういうところにも無駄があるように思うが。

◆固定資産税の減免を時限的でもしてほしい。



佐賀市立図書館でのようす（5月9日）

文教福祉委員会関係

◆教育問題で不登校に対する取り組みはどうなっているか。四十人学級をもっと少人数学級にしていくべきではないか。

◆芙蓉小・中学校は全部で九クラス百五十七名であり、これでやれるのか、適正規模といえるのか。特認校になっているが、校区外からの通学にはバス代がかかるので、何とかならないか。

◆中学校の給食については、保護者等の意見の集約はされたのか。

◆給食費の未納はどうなっているのか。

◆給食費をPTAで徴収できないか。

◆中学校給食、鳥栖市は注文数が足りず、税金投入している。佐賀市は大丈夫か。

◆ゆめぼけっと、児童センターなどの施設を周辺部にもつくってほしい。

◆諸富公民館は後で建て

た講堂をつないでいるが雨漏りがして困っている。

◆公民館問題で、今は川副全体で使っているが、職員が館長を兼務している。専任の館長を置いてほしい。

◆南川副公民館建設について、市町村合併で、庁舎の空き部屋がかなり出ている。その活用は考えられないのか。

◆生活保護費受給者に関するチェックはどうなっているのか。明らかに不正受給者と思える者がいる。申請者のチェックのあり方を問いただしてほしい。

◆子宮頸がんワクチンの公費助成をしてほしい。

◆介護保険の介護度の判定が書類だけでされているようだ。実態と違う結果になっている困っている人がいるようだ。そんなことにならないようお願いしたい。

◆高齢者医療、あるいは福祉に関して、高齢者の

方々が生きがいを持つて心豊かに暮らせる施策を考えてほしい。



経済企業委員会関係

◆ハローワークを白山に誘致したが、失業者が買い物をするとは思えないし、公務員の職員もなかなか買い物などしない。

◆活性化につながると思えない。議会での審議はしっかりやってもらいたい。

◆街なかを歩くときに、少しでも休める場所としてベンチがあると助かる。

◆工業団地が大和町福田地区に決定され期待している。今後の取り組みに

についても情報公開してほしい。

◆熱気球大会開催事業について、交通渋滞の議論はなかったのか。交通渋滞の対策はあったのか。議会として対案等議論されたのか。

◆市営バスの今回の予算について、乗車人数増のため、市職員や県職員が率先してバスに乗らねばならないが、そういった運動はしているのか。とにかく、バスを利用してもらおうとする努力が足りないのではないか。

◆今、市営バスが運行しているが、大型バスに二、三人の状態なので、小型の巡回バスへの変更は出来ないか。

◆CO₂削減など環境のことを考え、公共交通機関のバスをもっと利用しようPRしてほしい。

◆クリーク・水路の水草除去は、機械に頼らざるを得ない状況。それでもないところは人力作業に



本庄公民館でのようす（5月15日）

なり、かなりきつい。
のり落ち対策の補助申請についてはどうなるのか。

◆農地・水・環境事業の進捗状況はどうなっているのか。

◆鳥獣被害について。イノシシ被害が深刻だ。田を掘って土砂崩れのおそれさえある。効果のある対策をしてほしい。

◆佐賀市水道局と他の水道企業団との合併はできないのか。

建設環境委員会関係

◆カラス対策はどのように話し合われているのか。

◆ごみ焼却は今後一本化してほしい。

◆川副と東与賀地区のごみ焼却場に関しても将来的には高木瀬の焼却炉に統合されると聞いている。剪定くず等は一辺にそろえて切りこんで持ち込まねばならないが、遠すぎる。丸目には持ち込めないのか。

◆農業集落排水事業の接続率を高めるといいうが、経済的に困窮している人がふえている中で、接続率を高めるには、助成制度も考えないといけないのでは。

◆一部には下水道が来ない地区があると言われたが、どうなっているのか。

◆医大通りが拡幅されたが、相変わらず混雑している。医大東側の都市計画道路が廃止になったようだが、ほ場整備の中で

の道路計画があると聞いている。どうなっているか。

◆川上・池上地区に佐賀・唐津間の高規格道路の計画がなされているが、整備された農地が分断される等の問題がある。市としても対応を検討してほしい。

◆今年七月から、公共下水道使用料が、平均一二・二％引き上げられるということだが、接続率に影響が出てくるのではないかとと思う。佐賀市で下水道は来ているのにつながらない未加入者は何％あるのか。

◆その他、道路維持管理、洪水対策などに対するご意見がありました。

議会関係

◆市長や市議が地域に向き話を聞いてもらうという報告会は大変良いことだ。

◆参加者が少ないことを反省してほしい。もっとPRしてほしい。

◆合併したが、人口減少の中で市議会議員の定数を減らしていくべきではないか。

◆議会報告会に町内出身議員がいらないのはどうしてか。地元議員がいたほうがわかりやすいし、言いがわりやすい。

◆かえって地元議員でないほうが、多くの議員に知ってもらおうという点でいいのではないか。

◆本場に地域の人の話を聞いてほしい。このような会も年に二、三回積み重ねると、参加者も多くなると思う。

◆本来、政策等については執行部が説明すべきであり、議員は市民の意見を聞くことにより住民サービスを高めるべきである。

◆時代の流れとともに、議員は大変な仕事になってきたと思う。今後は限られた予算、人材で議会運営をする時代となり、行政を指導する力を議員が身につける必要がある。先進地等を調査し佐賀市に合うようなものは取り入れるべきで、大いに勉強して頂きたいと思う。

◆陳情・請願について地域住民の負託にこたえる努力がなされていないのではないか。

◆報告会の時間配分で説明時間が長すぎる。市民との意見交換の時間をもっと長くするべきだ。

今後の議会報告会について

今回の報告会は、佐賀市議会基本条例制定後、初めての開催ということもあり、議員自体も不慣れであったために、市民の皆様への周知方法や会場設定、あるいは時間設定において、必ずしも十分に行き届かなかったことが多かったと思います。今回の開催結果を十分に



城南中学校でのようす（5月17日）

検討し、次回以降の開催に生かしていきたいと思います。

佐賀市議会が開かれた議会を目指し、市民の方々とともに、未来に誇れる佐賀市をつくり上げていきます。なお、紙面スペースの都合上、すべての意見を掲載することができませんでしたが、その他の皆様からお寄せいただきました意見はホームページに公開しておりますので、そちらも御覧ください。